

68th CALENDAR FAIR

第68回 全国カレンダー展 《作品募集のご案内》

◆主催／(一社)日本印刷産業連合会・フジサンケイ ビジネスアイ

作品締切▶ 12/1^木 公開▶ 2017年 1/14^土～1/18^水 ゲートシティ大崎 B1アトリウム他
1/23^月～2/2^木 ペーパーボイス大阪(平和紙業)

1 全国カレンダー展

全国カレンダー展は「企業の文化的メッセージを伝えるコミュニケーション手段」「人々の生活空間に潤いを与える印刷媒体」といわれるカレンダーの印刷技術や企画・デザイン力あるいは機能性や実用性に優れた作品を顕彰するコンクールです。

2 主催・後援

- 主催：(一社)日本印刷産業連合会 フジサンケイ ビジネスアイ
- 後援：経済産業省 文部科学省 (独)国立印刷局 日本商工会議所
(予定) 日本製紙連合会 (公社)日本マーケティング協会 全国中小企業団体中央会
- 協賛：全国カレンダー出版協同組合連合会

3 募集要項

- 対象作品：平成29年(2017年)次用として実用に供されるカレンダーで、日本の印刷会社が受注、または印刷したもの(デジタル印刷、インクジェット印刷など、印刷方式は問わない)
- 出品料： 1作品 15,000円(税込) ※入金締切 平成28年12月1日(木)
- 募集期間：平成28年12月1日(木)まで ※当日消印有効
- 審査発表：審査会(12月6日・7日) ※後日、HPにて公表
- 表彰： 平成29年1月16日(月)
- 募集部門：
- 第1部門 一般企業カレンダー、印刷会社の自社用カレンダー(企業が独自に制作し、直接配布するもの)
 - 第2部門 販促カレンダー(企業が発行し、自ら販売促進用を使用するか、もしくは販売網を通じて流通させるもの)
 - 第3部門 販売用(出版)カレンダー、既製カレンダー(公共性の強い機関からの作品を原則として含む)

4 応募要項

■ 応募方法

- お申込み パソコンでウェブサイト(www.fsbi-prom.jp/calendar/)の「お申込みフォーム」にアクセスいただき、必要事項をご入力の上、フォーム下部の「確認」-「登録」ボタンを押してください。作品登録サイトにログインするために必要なIDとパスワードをメールにてお送りいたします。
- 作品登録 お申し込み後、ご登録いただいたアドレスに届くURLの「作品登録フォーム」にアクセスいただき、お申込み時に付与されたID、パスワードを入力してください。ログイン後に「作品登録」ボタンを選択し、必要事項をご入力の上、フォーム下部の「確認」-「登録」ボタンを押してください。
- 作品準備 作品の登録確定後、「作品カード(審査会)」、「作品カード(展示会)」、「梱包リスト」をプリントアウトしていただき、「作品カード」を作品に貼り付けてください。梱包リストは作品を梱包したダンボール箱等の表面に貼り付けてください(梱包リストの貼付のない郵便物は受け付けません)。作品カードの貼り方につ

いては「作品カレンダーの提出方法」をご参照ください。

- 作品送付 1作品につき2部(審査会用・展示会用)お送りください。作品は締切日までに、裏面の作品送付先までご郵送ください。
- ※申請部門に疑問が生じた場合は、審査委員会の判断で出品部門を変更することがあります。
- ※全国中小企業団体中央会会長賞の対象は、発行会社が中小企業である作品に限定しています。以下の基準に該当する場合は「作品リスト」の該当欄に○印をしてください。

○製造業	資本金3億円以下または従業員300人以下
○卸売業	資本金1億円以下または従業員100人以下
○小売業	資本金5千万円以下または従業員50人以下
○サービス業	資本金5千万円以下または従業員100人以下

※スペースの関係上、展示対象は入賞および入選の作品となります。

■ 注意事項

- ① 出品に際しては、著作権・工業所有権等で、法律問題が生じないように各方面の了解を得ておいてください。
- ② 締切日に遅れた場合や出品料の払込みがない場合は、審査の対象から除外あるいは授賞を取り消します。
- ③ 入賞作品については、公式カタログなどの掲載用として「写真データ」のご提供をお願いいたします。写真データは「作品登録フォーム」からアップロードできます。
- ④ 応募作品は展示公開され、また公式カタログやHPなどに掲載・記録される場合がありますが、その際の著作権は目的限定で主催者に帰属します。
- ⑤ 応募作品は東京・大阪の展示会以外にも地方都市・海外での展示や公共団体あるいは関連企業が主催するイベントに貸し出すことがあります。
- ⑥ 入賞作品については、展示会用(5部)、日独交換カレンダー展用(2部)、チャリティー即売用(3部以上)、計10部以上のご提供をお願いいたします。入選作品は除きます。
チャリティー即売の売上金は、産経新聞社が提唱して設立された「明美ちゃん基金」へ全額寄付させていただきます。
- ⑦ 応募作品はご返却いたしません。予めご了承ください。

■ 申込先

フジサンケイビジネスアイ 営業・事業本部内
「第68回 全国カレンダー展」事務局
東京都千代田区大手町1-7-2 〒100-8125
電話: 03-3273-6180 FAX: 03-3241-4999
メール: calendar@sankei.co.jp
URL: www.fsbi-prom.jp/calendar/

■ 振込先

口座名: (株)日本工業新聞社
みずほ銀行 大手町営業部 当座 18715
振込期限: 2016年12月1日(木)

作品の登録確定後、ご登録いただいたメールアドレス宛てに出品料(総額)とお申込番号をお送りいたしますので、上記の金融機関にお振り込みをお願いいたします。お振り込みの際は「ユーザーコード」をご入力ください。

■ 作品送付先

〒121-0836 東京都足立区入谷6-2-11
東京団地倉庫内 (株)国分「第68回 全国カレンダー展」宛
電話: 03-3896-8201

5 賞の内容

経済産業大臣賞(第1部門/第2部門/第3部門 各1点)

製版・印刷技術に優れ、企画デザインについてもその制作意図が明確で、かつ創造性に富み、将来にわたって印刷産業の情報メディアの担い手としての社会的役割が期待できるもの。

文部科学大臣賞(第1部門/第2部門/第3部門 各1点)

総合的な優秀作品で、特にデザインに優れ、社会教育にも役立つと思われ、将来にわたって印刷産業の情報メディアの担い手としての社会的役割が期待できるもの。

経済産業省商務情報政策局長賞(第1部門/第2部門/第3部門から合計5点以内)

大臣賞に次いで、製版・印刷技術およびその機能性や市場性において優れていると認められるもの。

国立印刷局理事長賞(第1部門/第2部門/第3部門 各1点)

印刷技術を中心に、総合的に優れているもの。

日本商工会議所会頭賞(第1部門/第2部門/第3部門 各1点)

実用性に富み、総合的に優れているもの。

日本製紙連合会賞(第1部門/第2部門/第3部門 各1点)

素材を生かして、総合的に優れているもの。

日本マーケティング協会賞(第1部門/第2部門/第3部門 各1点)

マーケティング視点に立って、総合的に優れているもの。

全国中小企業団体中央会会長賞(第1部門/第2部門/第3部門 各1点)

中小企業の振興につながり、総合的に優れているもの。

日本印刷産業連合会会長賞(第1部門/第2部門/第3部門 各1点)

製版・印刷技術において水準が高く、機能性や市場性においても優れているもの。

フジサンケイビジネスアイ賞(第1部門/第2部門/第3部門 各1点)

広くマスコミの視点に立って、総合的に優れているもの。

審査員特別賞(計10点)※

デザイナー・学識経験者の各審査委員がそれぞれに認めたもの。

部門賞 金賞(審査総数の3%相当)

各ジャンルにおいて、カレンダーの機能を満たすために、製版・印刷・加工技術およびデザイン的に優れているもの。

部門賞 銀賞(審査総数の7%相当)

金賞に次いで、技術的・デザインの的に優れていると判断されるもの。

実行委員会奨励賞(若干数)

実行委員が認めた特筆すべきもの。

※審査員の人数により変更の可能性があります。

6 審査委員

■ クリエイティブ関係/学識経験者

浅葉 克己 松永 真 上條 喬久 奥村 毅正 沼田 早苗 葛西 薫
飯沢 耕太郎(写真評論家) 石川 英輔(作家)
善本 喜一郎([公社]日本広告写真家協会) 古川 タク(東京イラストレーターズ・ソサエティ)

■ 官庁・後援団体関係

経済産業省 (独)国立印刷局 日本商工会議所
日本製紙連合会 (公社)日本マーケティング協会 全国中小企業団体中央会

■ 広告関係代表/消費者代表

(公社)日本アドバタイザーズ協会 (一社)全国消費者団体連絡会

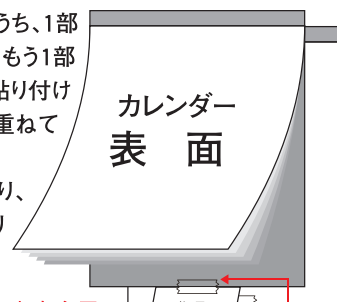
—以上予定—

■ 印刷関係代表

岩岡 正哲([一社]日本印刷産業連合会 広報委員会)
佐々木 誠(実行委員会 委員長)

作品カレンダー提出方法

お送りいただく作品2部のうち、1部に作品カード(審査会)を、もう1部に作品カード(展示会)を貼り付けてください。作品カードは重ねて貼らないでください。
審査会後の入賞作品に限り、作品カード(展示会)を貼り付けの上、計10部以上を再送してください。



《作品カード》は作品のセンターに貼付してください。

最終頁の表面に辺と辺を合わせてセロハンテープ貼り

前回の経済産業大臣賞

【第1部門】
HAKARU



江戸時代、
江戸の町では、
秤で物を量ることは、
町人の生活に欠かせないものでした。
江戸の町では、
秤で物を量ることは、
町人の生活に欠かせないものでした。
江戸の町では、
秤で物を量ることは、
町人の生活に欠かせないものでした。

見える
価値が
わかる
と。

1
2016
JAN.

SUN.	MON.	TUE.	WED.	THU.	FRI.	SAT.
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2
FEB.

SUN.	MON.	TUE.	WED.	THU.	FRI.	SAT.
		1	2	3	4	5
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29					



秤口天秤
2015.12.29

本日は、経済産業大臣賞を受賞した、江戸時代の名産品、江戸の町人の生活に欠かせないものでした。江戸の町では、秤で物を量ることは、町人の生活に欠かせないものでした。江戸の町では、秤で物を量ることは、町人の生活に欠かせないものでした。

TATSUNO

ダイキンお天気カレンダー AIR —空気の楽園—



【第3部門】

エグゼクティブ玉カレンダー（金）

